

大学と連携し、

地域活性化や環境保全など

地域の課題に取り組みます

佐渡市では、大学の持つ知的資源や人的資源等を活用し、活力のある地域社会づくりを進めるとともに、地域の課題に適切に対応するために、様々な大学との連携事業を進めています。

このため、佐渡市トキ交流会館を、大学との連携事業の活動拠点としても位置づけ、活用を図ります。

新潟大学が「朱鷺・自然再生学研究センター」を開所しました

佐渡市と包括連携協定を締結している新潟大学では、これまで佐渡島において、トキのモニタリング、ビオトープ整備などの調査研究を行ってきました



「朱鷺・自然再生学研究センター」の開所式

たが、このたび、佐渡市トキ交流会館に「朱鷺・自然再生学研究センター」を設置しました。

このセンターは、トキをシンボルとした自然再生と地域づくりに関する総合的な研究を推進するものであり、トキの野生復帰を支援するだけでなく、トキとの共生を軸にした佐渡島の未来像を探り、自然再生・地域づくりのための人材養成を担うものです。

センターには、地域の方々が利用いただける「セミナー室」と、他大学やNPOの方々を利用いただける「共同研究室」があります。大学と地域とが一体となって自然再生と地域づくりを考え、それによって、目標が達成できると考えています。

これから、センターの活動にご理解とご協力を、よろしく願います。センターには、山岸哲センター長（新潟大学特任教授／山階鳥類研究所名誉所長）の他、約15名のスタッフが常駐します。

お問い合わせ

新潟大学朱鷺・自然再生学研究センター
☎ 22-3885 FAX 22-3990
メール tokipro-sado@adm.nigata-u.ac.jp

東京農業大学が「子ども向け教材開発・普及活動」に取り組みます

佐渡市と包括連携協定を締結している東京農業大学では、独立行政法人青少年教育振興機構が行う、平成22年度子どもゆめ基金助成金を活用して、子ども向け視聴覚教育資料を作成・頒布します。

テーマは、「佐渡の自然とトキの野生復帰から学ぶ食、農、環境―人と自然の共生」です。

これから、佐渡を1年間かけて取材し、視聴覚教育資料を全国の高校や、自然系博物館および大学博物館に無償頒布するほか、東京農業大学「食と農」の博物館で3年間放映することにより、佐渡島のPRに取り組みます。

お問い合わせ

東京農業大学 事務局 局次長 大倉
☎ 03-5477-2223
FAX 03-5477-2645
メール okura@nodai.ac.jp

東京工業大学等の研究グループが「ローカル・コモンズ再生共同研究所」を開所しました

科学技術振興機構・社会技術研究開発センター（JST・RISTEX）の研究開発プログラム「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」・「地域共同管理空間（ローカル・コモンズ）の包括的再生の技術開発とその理論化」研究開発プロジェクト・グループ（東

京工業大学・九州大学・兵庫県立大学の研究グループ 代表 桑子敏雄（東京工業大学大学院教授）は、自然生態系と地域社会の包括的再生に向けて研究を進めるため、佐渡市トキ交流会館に「ローカル・コモンズ再生研究所」を設置しました。

研究所では、アメリカで環境哲学という学問を切り開いたバード・キャリコット氏（ノーステキサス大学教授）を招いて、生物多様性の保全と脱温暖化対策などをテーマに、佐渡島の環境保全・再生の取り組みについて談義します（環境哲学国際談義）。グローバルな視点で佐渡島の環境づくりについて語り合います。

会場 トキのむら元気館
日時 6月26日（土）
午後3時～午後5時30分

連絡先

兵庫県立大学環境人間学部
環境教育 講師 豊田光世
☎ 079-292-9410

メール toyoda@shse.u-hyogo.ac.jp
お問い合わせ

ローカル・コモンズ再生共同研究所
☎ FAX 22-3666

メール kannoken08@ebony.plala.or.jp

